

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

【品詞の分類・活用形・文節に関する問題】
 1 次の各問いに答えなさい。

「行き」は「動詞・五段活用」の「連用形」です。「静かだ」は「形容動詞」、「来る」は「動詞・力行変格活用」の「終止形」です。

(1) 次の [] の文の [] 線部と〈活用の種類〉と〈活用形〉が同じ動詞を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。 **レベル8～10**

明日、公園に行きます。

ア 質問に答えない。 イ 図書館の中は静かでした。
 ウ 遠くから友達が来る。 エ 先生に理由を話した。

エ

(2) 次の文を文節に区切ると、いくつの文節になりますか。あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。 **レベル11・12**

中庭の 花だんに きれいな バラの 花が たくさん 咲いて いる。

ア 六 イ 七 ウ 八 エ 九

文節の切れ目に「ネ」をはさんでみましょう。

ウ

【同音異義語の中から文脈に合うものを選択する問題】 **レベル8～10**

2 次の文の [] 線部のカタカナを漢字で書く場合、正しいものを () の中からそれぞれ一つ選び、記号に丸を付けなさい。

- (1) 会場を イドウ する。 (ア) 異動 **イ** 移動 ウ 異同
- (2) 朝食をとる シユウカン をつける。 (ア) 週刊 イ 週間 **ウ** 習慣

【古文の内容を読み取り、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題】 **レベル8～10**

3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

仁和寺にある法師、年寄るまで、石清水を拝まざりければ、心うく覚えて、あるとき **①** 思ひ立ちて、ただ一人、かちより詣でけり。極楽寺・高良などを拝みて、かばかりと心得て帰りにけり。

さて、**②** かたへ の人にあひて、「年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにもすぎて、尊くこそ **③** おはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、なにごとかありけん、ゆかりしかど、神へ参るこそ本意なれと思ひて、山までは見ず。」とぞ言ひける。

少しのことにも、先達は **④** あらまほしき ことなり。(兼好法師『徒然草』第五十二段)

(1) 線部 **①** 「思ひ立ちて」 **②** 「かたへ」 **③** 「おはしけれ」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

「はひふへほ」は、「わいうえお」に直せます。

- ①** おもいたちて **②** かたえ **③** おわしけれ

(2) 線部 **④** 「あらまほしき」の意味を次から一つ選び、記号に丸を付けなさい。

ア ありがたい **イ** あってほしい ウ わかってほしい エ あたらしい